Oriental motor

「かけがえのない地球」のために

環境報告書 2014

ENVIRONMENTAL REPORT

ごあいさつ

2014年6月
オリエンタルモーター株式会社
取締役執行役員社長
野村重幸

私たちオリエンタルモーターは、1885年に手造りのモーターから始まりました。「『ものを愛する心』『ひとを愛する心』を持つ」という基本思想から、お客様が使いやすい製品の開発に力を注ぎ、さまざまな事業へと発展させてまいりました。

現代社会では、さまざまな「動き」が求められており、その動力源を担うモーターに対するニーズも多様化しています。近年は、世界的に資源やエネルギー消費効率の改善気運が高まっており、利用効率の改善に寄与する製品をお届けしていきたいと考えております。

2013年度は、環境負荷低減に貢献する製品の開発、省エネや廃棄物削減の活動および製品含有化学物質の管理などさまざまな活動を継続してまいりました。

たとえば、製品の開発では、**KⅡS**シリーズ、**AZ**シリーズをはじめ、高効率・省資源に貢献する多くの新製品をリリースし、省エネでは、全社でピーク電力を抑える活動や照明のLED化を推進し、エネルギー使用量全体を低減することができました。

製品含有化学物質管理では、変化が激しい世界の規制の動向やお客様のニーズから、適時に部品の調査を実施し、製品の含有化学物質の情報をタイムリーに提供する体制ができております。グループ全体では、省エネの工夫を盛り込んだOM新御徒町ビルの竣工や、再生可能エネルギーの活用による低炭素社会の実現に向けた相馬太陽光発電所の稼働を開始しました。

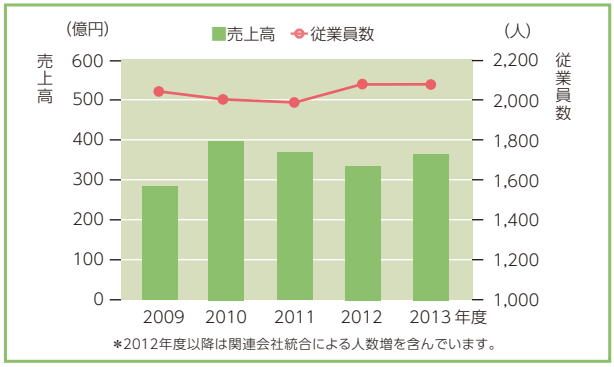
今後ますます企業の社会的責任が増していきます。紛争鉱物への対応をはじめ、BCP・地域貢献活動などにも積極的に取り組み、社会および事業の責任を果たしていきます。

この報告書を私たちオリエンタルモーターの環境保全活動をご理解いただく一助としていただければ幸いです。今後の活動に対するご助言やご協力をお願い申し上げます。

会社概要

社　名：オリエンタルモーター株式会社
本　社：東京都台東区東上野4-8-1
創　業：1885年
設　立：1950年
代表者：取締役執行役員社長　野村重幸
資本金：40億円
売上高：368億円(2014年3月期)
従業員：2,077名(2014年3月末現在)

売上高および従業員数の推移



*2012年度以降は関連会社統合による人数増を含んでいます。

(本報告書の範囲)
対象期間 ： 2013年度(2013年4月～2014年3月)
対象組織 ： オリエンタルモーター株式会社の国内拠点
*対象組織が異なる箇所は、その旨を明記しています。

事業概要

当社はお客様が求めている「動き」を実現するために、最適な駆動システムを最短のトータルリードタイムでご提供することを目指しております。

AC小型標準モーター、スピードコントロールモーター、ステッピングモーター、ACサーボモーター、電動アクチュエータ、ファンモーター、およびモーター周辺機器の開発・製造・販売を行い、半導体・液晶製造装置をはじめ食品機械、医療機器、理化学機器、計量機器、事務機器など幅広い業界でご愛顧いただいております。

目　次

ごあいさつ・会社概要・事業概要 …… 1
環境マネジメントシステム …… 2
目標と実績・環境負荷データ …… 3
製品への取り組み …… 4
製品含有化学物質管理と法規制の順守 …… 6
省エネルギーCO_2低減への取り組み …… 7
廃棄物削減とリサイクルへの取り組み …… 8
トピックス …… 9
労働安全衛生の取り組み・地域とともに …… 10

環境マネジメントシステム

環境基本理念

オリエンタルモーター株式会社は、お客様一人ひとりから求められるさまざまな「動き」に関わり、「動き」を創造し続け、また、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、企業活動のあらゆる面で環境負荷低減に貢献していきます。

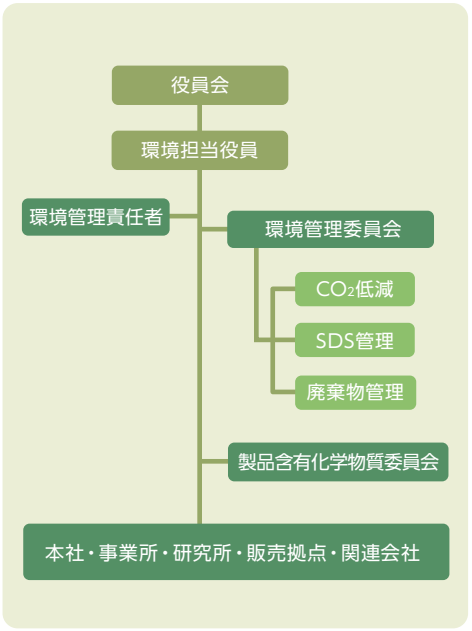
環境方針

1. 事業活動、製品、サービスが環境に与える影響を把握し、環境課題を定めるとともに円滑なPDCAサイクルを通して、環境保全活動の継続的な改善を実施します。
2. 全ての活動において、省資源、資源の有効利用、使用エネルギーの削減、廃棄物の削減を推進します。
3. 製品の設計及び製造においては、お客様のニーズを的確に反映させるとともに、省資源・省エネルギー設計、有害物質の削減に取り組み、環境への影響を最小限にとどめる努力を続けます。
4. 法規制を始めとする社会的要求事項を遵守し、環境汚染の予防に取り組みます。また、社会、地域との調和の向上に努めます。
5. 社員一人ひとりに対し、環境教育、社内広報活動などを実施し、環境課題を遂行できるように意識向上を図ります。
6. 取引先の理解と協力のもと、本方針に沿った事業活動を一体となって展開します。

－ この「環境方針」は、社内外に開示します －

制定日:1999年8月6日
改定日:2014年4月1日

環境組織



環境パトロール

2012年度より環境パトロールを実施しています。2013年度は、環境管理業務の経験が長く、十分な知識・力量を持った専門家4人が環境パトロールを行い、より深く掘下げた活動を目指しました。その結果、パトロール先に対し、環境関連法規の抽出や順法性評価の方法に関するアドバイスをはじめ、廃棄物管理、有機溶剤管理、環境関連施設管理に係るものなど多岐にわたって、多くの有効な改善提案・アドバイスを行うことができました。また、環境パトロールメンバーとパトロール先がお互いの活動の良い点・悪い点を現場・現物・現実にもとづき情報交換することができました。

また2013年度は社内監査部門との調整を行い、環境管理に関する確認は環境パトロール一本で効率的に実施しました。これにより被監査者および監査員の両者にとって、重複がなく効率のよい監査業務を遂行することができました。

危険物屋内貯蔵所の確認

近隣企業4社で新社員の「合同環境教育」を実施 鶴岡

毎年4月に、鶴岡中央事業所が位置する鶴岡中央工業団地近隣の企業と新社員合同環境教育を実施しています。

2013年度は、30名の新社員(うちオリエンタルモーターは8人)が参加しました。環境一般教育の後、鶴岡駅周辺のクリーンアップ活動を行い、約30分間で932個、25kgのごみを収集しました。

鶴岡駅周辺のクリーンアップ活動

環境活動の目標と実績

2013年度環境活動の目標と実績、2014年度目標

評価基準…　達成　達成率80%以上　達成率80%未満

	2013年度 目標	2013年度 実績	評価	2014年度 目標
高効率・省資源	高効率・省資源を考慮した商品の機種拡大と拡販を進める	2012年度発売商品の販売台数増大 新機種発売と上記商品のラインアップ拡大		商品のさらなる拡販 2013年度発売商品のラインアップ拡大
製品含有化学物質の管理	法規制の動向確認および対応 お取引先の管理状況確認	RoHS指令やREACH規則など、電気電子機器に関わる法規制の動向確認と対応 取引先様の管理状況確認を開始		法規制の動向確認および対応の継続 取引先様の管理状況の確認を継続
エネルギー使用量の削減	エネルギー効率を向上させる 省エネ活動の継続とエネルギー多消費機器の運転管理を見直す	5年間のエネルギー効率は良好なレベルを維持している エネルギー使用量は生産増にも関わらず、空調運転の適正管理などにより前年度と同等の実績		エネルギー効率を向上させる
廃棄物の削減	廃棄物削減活動の継続 リユース活動の展開	廃棄物の総排出量は2,528tで前年度比106% つくば事業所が推進しているリユース活動は、鶴岡地区を追加し、全8事業所へと拡大		廃棄物削減活動の継続 リユース活動の継続
リサイクル	国内主要生産拠点の平均リサイクル率は99.6%以上を維持する	国内主要生産拠点の平均リサイクル率99.5% ゼロエミッション(注)達成		国内主要生産拠点の平均リサイクル率は99.6%以上を維持する

*2013年度の目標と実績は国内主要生産拠点（鶴岡中央事業所、鶴岡西事業所、土浦事業所、つくば事業所、高松香西事業所、高松国分寺事業所、相馬事業所、甲府事業所）を対象範囲としています。但し、エネルギーについては、日本国内のオリエンタルモーターおよび関連会社を対象範囲としています。

(注) ゼロエミッション：当社では事業活動に伴い生じる産業廃棄物と一般廃棄物（生活系を含む）のすべての廃棄物（総排出量）を対象とし、そのリサイクル率が99.0%以上の場合「ゼロエミッション」達成としています。

環境負荷データ

INPUT	拠点合計(注1)	国内主要生産拠点					
		鶴岡地区(注2)	つくば事業所	土浦事業所	高松地区(注2)	相馬事業所	甲府事業所
電力使用量（万kWh）	1,682	493	96	195	186	135	28
灯油使用量（kℓ）	128	89	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
LPG使用量（t）	131	0.5	0.0	0.06	0.0	0.0	0.0
水使用量（m^3）	30,165	12,651	4,349	7,775	2,303	2,508	579
紙使用量（t）	31	13	6	4	5	2	0.4
容器包装材（t）	952	350	290	91	221	0.1	0

OUTPUT	拠点合計(注1)	国内主要生産拠点					
		鶴岡地区(注2)	つくば事業所	土浦事業所	高松地区(注2)	相馬事業所	甲府事業所
CO_2排出量（t-CO_2）	10,594	3,202	505	1,022	1,305	812	146
廃棄物総量（t）	2,528	1,203	50	148	721	398	8
リサイクル量（t）	2,514	1,193	49	148	721	395	8
焼却埋立処分量（t）	14	9	0.4	0.4	0.1	3	0.0
排水量（m^3）	23,021	10,926	4,132	2,867	2,163	2,383	550

(注1) 合計の対象範囲は、電力使用量、灯油使用量、LPG使用量およびCO_2排出量については日本国内のオリエンタルモーターおよび関連会社、その他は国内主要生産拠点です。

(注2) 鶴岡地区は鶴岡中央事業所と鶴岡西事業所、高松地区は高松香西事業所と高松国分寺事業所です。

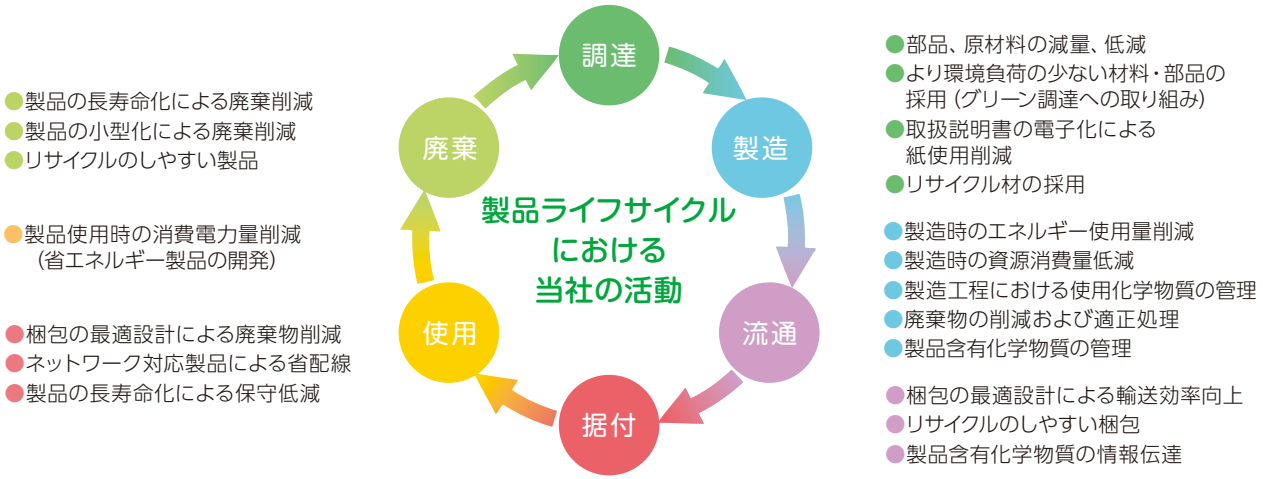
*CO_2排出量の算出については環境省・経済産業省の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」を参照しています。

*CO_2排出量の算出には、電気事業者ごとの実排出係数を使用しています。

製品への取り組み

お客様の環境負荷低減に貢献する製品の提供

製品設計の企画構想、開発・設計および試作・立ち上げの過程では、製品アセスメントを実施しています。製品アセスメントは、製品ライフサイクルの各段階について、省資源化、再資源化、処理の容易化、省エネルギー、製品含有化学物質の管理などの観点から評価を行っています。



高効率化による省エネルギー

世界における産業用モーターの電力消費は総発電量の約40%を占めています(2011：IEA(国際エネルギー機関))。エネルギーの安定供給とCO_2の削減をするためには、モーターの高効率化による電力消費の削減が必要です。当社では国内外の動向を捉えながら製品の高効率化を進めてきています。

近年、各国にて産業用モーターやファンのエネルギー効率に対する基準の制定や規制の施行が行われています。多くの規制は、出力750W以上の汎用モーターを対象としていますが、中国およびEUでは小出力のモーターやファンモーターを対象とした規制が行われており、当社では右記のような対応をしています。

また、出力120W～1000kWの単相、三相誘導電動機、インバーター駆動用モーターや同期電動機への規準の制定や規制の範囲拡大が検討されています。

最近ではその一つとして、IEC 60034-30-1[※1]が発行されました。

※1 IEC60034-30-1：出力120W～2.2kWの単相、三相誘導電動機のエネルギー効率基準値およびクラスを定めた国際規格

【中国エネルギー効率規制】

- GB 25958-2010
  小電力モーターのエネルギー効率限定値およびエネルギー効率等級
  出力10W～2.2kWの単相および三相の誘導電動機が対象となっています。当社ではワールドK、KⅡ、Vシリーズが対応しています。

【EUエネルギー効率規制】

- DIRECTIVE 2009/125/EC(ErP指令)
  エネルギー関連製品へのエコデザインを要求する指令
- COMMISSION REGULATION (EU) No 327/2011
  入力電力125W～500kWのモーター駆動ファンに対する実施規則
  最大効率点での入力電力が125W～500kWのファンモーターを対象としており、適合品にはCEマーキングが求められます。当社ではMRS25タイプが対応しています。

省資源化

製品の小型・高出力化など省資源化により資源の有効利用をはかるとともに、長寿命化や省配線化なども推進しています。位置決め機能内蔵、FAネットワーク対応により省スペース、省配線を実現した製品のラインアップの拡大を進めています。

製品含有化学物質の管理

グローバルな電気・電子業界の標準に準拠していきます。製品含有化学物質の管理は、電気・電子業界の標準であるIEC 62474[※2]とその物質リスト、お客様の要求事項を考慮したグリーン調達基準により、禁止および管理物質を管理しています。

※2 IEC 62474：Material declaration for products of and for the electrotechnical industry（電気・電子業界及びその製品に関するマテリアルデクラレーション）

製品への取り組み

製品のラインアップ拡大

高効率、省資源・省スペース、省配線など、環境負荷低減に貢献する製品のラインアップ拡大を進めています。

高効率 高効率化技術を用いることで、省エネルギーを実現しました。

省資源 製品に使用する材料や部品の削減により製品の小型化を実現し、省スペース化への貢献を進めています。

省配線 さまざまな上位システムからのネットワーク制御を1台で可能にした、位置決め機能内蔵タイプ FLEX 製品のラインアップ拡大を進めています。I/O制御・Modbus RTU制御・ネットワークコンバータ経由でのFAネットワーク制御が可能で省配線に貢献します。

三相高効率 インダクションモーター KⅡS シリーズ

- 損失を最小限に抑え、最大効率73%
- 消費電力従来比10%減
- モーター効率アップにより、モーター後部にあった冷却ファンを削減

高効率 省資源

低消費電力 プロペラファン EMU シリーズ

- ブラシレスモーターの採用により消費電力従来比68%減
- ブラシレスモーターの採用により発熱を抑え、寿命が従来比2.2倍
- 使用材料の樹脂化により質量が従来比約45%と軽量化

高効率 省資源

クローズドループ ステッピングモーターユニット αSTEP アブソリュートセンサ搭載 AZ シリーズ

- バッテリ不要でアブソリュート方式の位置決めを実現
- バッテリ不要により、メンテナンスや部品管理、交換作業、復旧作業、バッテリ廃棄などの問題をクリア
- 高効率モーターで消費電力従来比47%減
- 外部センサなどの機器削減が可能

高効率 省資源

FLEX 製品のラインアップ拡大

- ブラシレスモーターユニット **BLE**シリーズ FLEX
- クローズドループステッピングモーターユニット αSTEP **AR**シリーズ FLEX、**AZ**シリーズ FLEX、
- 5相ステッピングモーターユニット **RK**Ⅱシリーズ FLEX、**CRK**シリーズ FLEX、**PKA**シリーズ FLEX
- 電動スライダ αSTEP **AR**シリーズ搭載 **EAS**シリーズ FLEX
- 電動シリンダ αSTEP **AR**シリーズ搭載 **EAC**シリーズ FLEX
- コンパクトリニアアクチュエータ **DRL**Ⅱシリーズ FLEX
- 中空ロータリーアクチュエータ **DG**Ⅱ シリーズ FLEX

電動スライダ αSTEP **AR**シリーズ搭載 **EAS**シリーズ FLEX

省配線

FLEX(フレックス)とは、I/O制御、Modbus RTU制御、ネットワークコンバータ*経由でのFAネットワーク制御に対応した製品の総称です。かんたん接続、かんたん制御を可能にし、システム構築のトータルリードタイム短縮を実現します。

*ネットワークコンバータは当社製品です。各種通信プロトコルから当社独自のRS-485通信プロトコルへ変換します。ネットワークコンバータを使用し、各通信環境下で当社のRS-485対応製品を制御できます。

適切な製品含有化学物質の管理と法規制の順守

人の健康と環境に悪影響を及ぼす化学物質を適切に管理しようという世界的な動向を背景にさまざまな法規制が各国で施行されています。EUではRoHS指令が改訂、2013年1月から施行されました。また、REACH規則では、認可対象候補物質(SVHC)の追加が随時行われています。オリエンタルモーターはEUの規制を中心とした世界の法規制を順守するとともにサプライチェーンでの製品含有化学物質に関する保証体制の構築に取り組んでいます。

情報伝達のしくみ

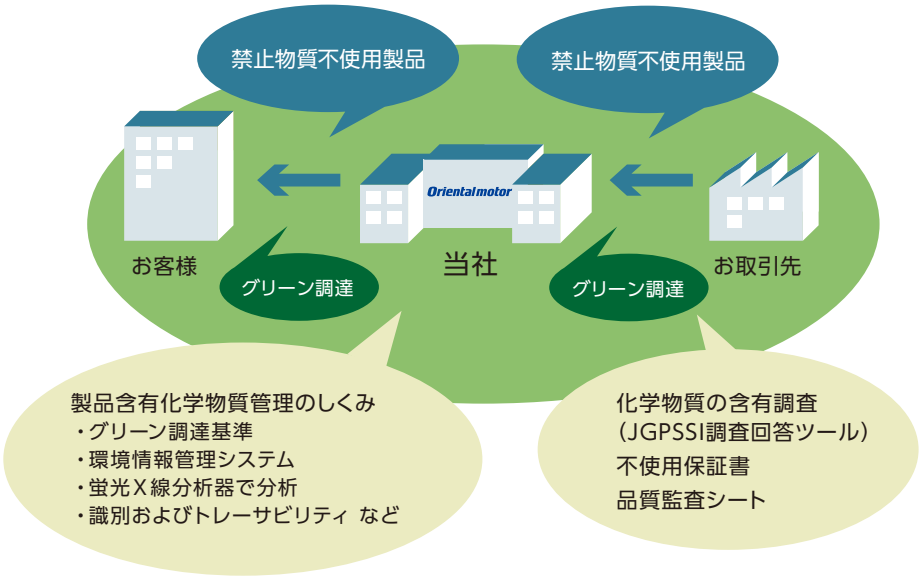
電気電子業界の共通ガイドラインであるJIG(JOINT INDUSTRY GUIDE)の作成に参画してきました。

JIGから移行する形でIEC規格(IEC 62474)が発行されていますが、引き続き IEC 62474にもとづき活動を推進するとともに適切な管理を行っていきます。

管理のしくみ

JIS規格「JIS Z 7201 製品含有化学物質管理−原則及び指針」が発行されました。

これを受けてJAMP管理ガイドライン作成技術委員会では管理の標準化を目指してJIS規格にもとづいたガイドライン第3版及び、チェックシートを発行しました。オリエンタルモーターはこの委員会にも参画し、化学物質管理の標準化を目指し社内の体制確認、取引先の管理状況の確認を開始しました。



受入検査の拡充

今まで1拠点に集約して検査を行っていましたが、鶴岡地区、高松地区、シンガポールの3拠点に蛍光X線分析装置を追加導入し、受入検査体制のさらなる展開をはかりました。

高松国分寺事業所

鶴岡中央事業所

OM TALK

MS事業部　品質管理課
品質管理グループ　大西 章仁

高松地区では2012年12月に設備を導入し、立ち上げを進めてきました。まずは分析部門へ依頼していた定点観測を高松国分寺事業所で行うことからスタートしました。今までと全く分野の異なる装置、検査のため、何もかもが手探り状態でした。そんな中でも材料や物質について調べたり、分析部門の協力をいただいたりすることで立ち上げることができました。

今後は高松地区においても受入検査体制を整備し、今まで以上にお客様に安心してご使用いただける製品を提供するよう取り組んでいきたいと思います。

省エネルギーCO_2低減への取り組み

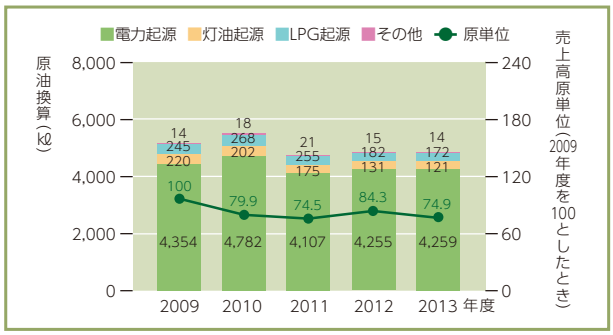
エネルギー使用量とCO_2排出量の推移

2013年度のエネルギー使用量は、原油換算で4,565kℓの実績です。過去5年間の売上高原単位は右グラフのとおり25.1%改善しました。年平均1%以上、5年間で5%以上の改善が求められる省エネ法に対し、大きく上回る実績です。2009年度以降の省エネ活動や省エネ投資が改善効果に貢献しています。2013年度は2012年度より生産量が増加し、生産に使用するエネルギーが増えていますが、これまでに培った空調運転管理の継続やMOTTAINAI活動などにより、エネルギー使用量の増加を抑えることができました。

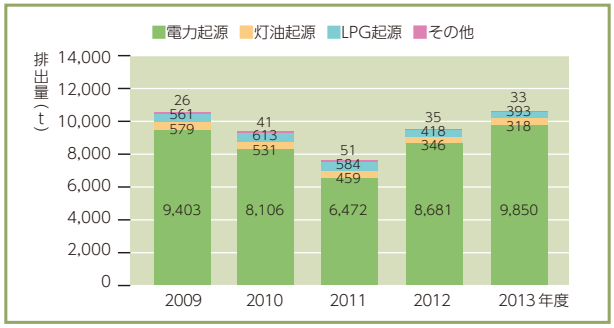
CO_2排出量は約90%が電力によるものであるため、電気事業者のCO_2排出係数に影響されます。特に2012年度以降は、原子力発電所停止により排出係数が大きくなり、CO_2排出量は原油換算と比較すると大きく増加しています。今後も電気事業者の動向に左右されるといえます。

(CO_2排出係数は2009年度までは0.000555t-CO_2を使用し、2010年度からは環境省発表の「電気事業者別のCO_2排出係数の実排出係数」を使用しています。)

原油換算と売上高原単位の推移



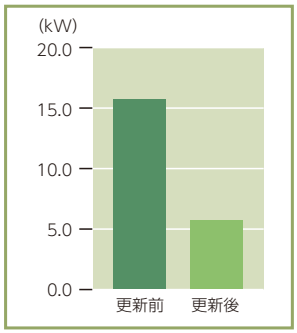
CO_2排出量の推移



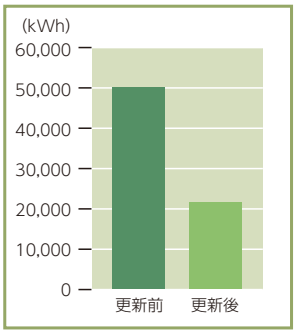
LED照明への更新 鶴岡

鶴岡中央事業所3棟の照明を調光機能付きLED照明に更新しました。また、スイッチ系統を細分化し、細かい単位で照明の点灯や消灯、照度調節ができるようにした結果、使用電力を56%削減することができました。

使用電力



年間使用電力量



OM TALK

鶴岡サポートカンパニー
業務サポート部　長南謙士

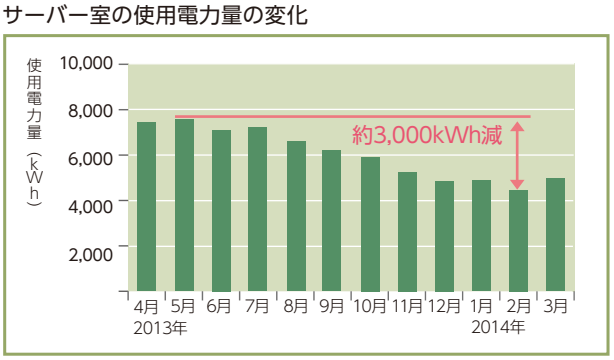
製造フロアの天井照明器具の更新を担当しました。環境への配慮、ゾーニングの細分化、エリアに適した照度確保ができる器具を検討した結果、LEDタイプの器具を採用することにしました。調光装置の取り付けにより、同じフロア内でも照度の調整を行うことができ、消費電力も更新前より56%、LEDの当初設計値より18%も削減することができました。

省エネ活動事例 つくば

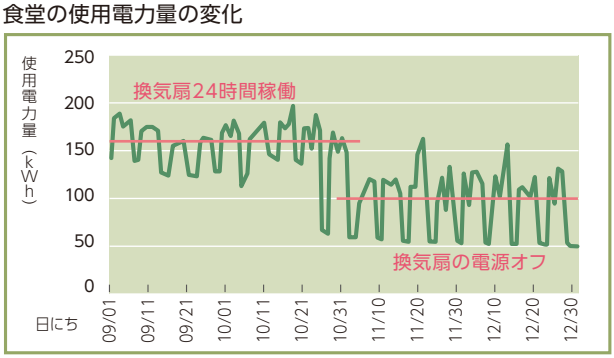
サーバーの統廃合を実施し、サーバーを10台減らして、使用電力量を約3,000kWh／月削減しました。

また、電力の見える化によって、食堂の夜間使用電力が高いことが判明。24時間稼動していた換気扇の電源を定時後に切るしくみを運用することで、約2,400kWh／月削減しました。

サーバー室の使用電力量の変化



食堂の使用電力量の変化



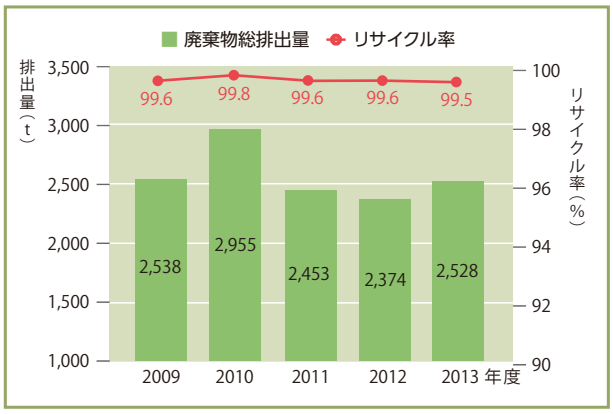
廃棄物削減とリサイクルへの取り組み

廃棄物の総排出量とリサイクル率の推移

2013年度の廃棄物の総排出量は、2,528tで2012年度比106%でした。当社の廃棄物の約70%は製品の部材（または材料）となる珪素鋼板が占めているため、排出量は製品の生産量に左右されます。2013年度は生産量増により珪素鋼板の排出量が前年に比べ約16%増加しました。一方、珪素鋼板以外の産業廃棄物と一般廃棄物の排出量は約10%減少しました。要因は、前年度に比べ設備廃棄が少なかったことや、製造工程で使用する帳票類の改善による紙の使用量削減、複数拠点で取り組んでいるリユース活動などがあげられます。また、新規廃棄物業者の立ち上げや廃棄物分別の見直しによりリサイクルや有価物化を進め、限りある資源を有効に活用する活動に取り組んでいます。

リサイクル率は99.5%でゼロエミッションを維持しています。

国内主要生産拠点の廃棄物総排出量とリサイクル率の推移



緩衝材の分別によるリサイクル率のアップ 相馬

2013年度のリサイクル率向上活動として、受け入れ部門では部品納入時のさまざまな紙類の緩衝材に着目し活動しました。これまで、受け入れ部門から排出される一般紙ごみは月平均152kgが廃棄されており、事業所全体のリサイクル率を下げる要因でした。受け入れ部門の一般紙ごみは多くが緩衝材で、新聞紙・広告・雑古紙といった資源ごみに分別でき、リサイクルできることが分かりました。緩衝材をリサイクルすることで受け入れ部門のリサイクル率は98%と大きく向上し、廃棄される一般紙ごみの排出量も月平均11kgと大幅に減少しました。今後は100%リサイクルを目標に活動を継続します。

部品納品時の緩衝材

リユース活動の推進 ～リユースステーション～ つくば

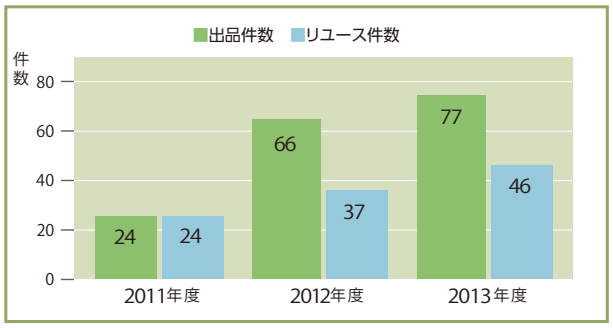
2010年度よりつくば・土浦事業所でリユースの推進を目的としてスタートしたリユースステーション※は、年々活動事業所が増え、2013年度は鶴岡地区の2事業所が加わり8事業所での活動となりました。

各事業所のリユースステーション事務局が定期的に会議を行い、また情報紙を定期発行した結果、2012年度比でリユース件数が約20%アップしました。

こうしたリユースステーション活動の結果、300kgの廃棄物削減と200万円の購入コスト削減につながりました。

※リユースステーションとは「リユースしてほしい備品を持っている部門」と「必要な備品をリユースしたい部門」を結びつけるもので、イントラネットの掲示板にリユース情報を公開しています。

リユースステーション利用状況（件数）



より長く安心して製品をお使いいただくための活動 アフターサービス部門

商品をご購入いただいた後の検査・修理、フィールドサービスを行うアフターサービス部門では、商品をより長く安心してお使いいただくことが、資源の有効活用、廃棄物の削減につながるという意識を持って、サービス向上に取り組んでいます。

これらのサービス活動を通して入手した各種情報は、お客様の視点での商品開発や、カタログ、取扱説明書、サービスの改善に役立てています。

フィールドサービスの常駐拠点

トピックス

太陽光発電所建設／稼動

再生可能エネルギーの普及による地域社会への貢献を目指し、グループ会社のオリエンタルモータービジネス株式会社を事業主として、2013年11月末に相馬事業所敷地内で太陽光発電事業を開始しました。

発電量は最大発電量750kW、年間発電量80万kWhを予定しています。

太陽光発電所

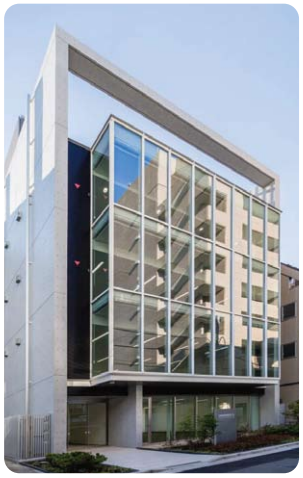
OM新御徒町ビルの環境対応

2014年1月、東京都台東区小島町にグループ会社のオリムベクスタ株式会社などが入る、全館LED照明を採用した5階建てのOM新御徒町ビルを建設しました。

北側面を大開口の窓とし、安定した採光を確保。南側面は、空調負荷を低減するために、60cmセットバックした腰窓と熱反射ガラスを採用しました。

4階、5階ではLEDデスクライトを使用し、天井の照明の照度を下げる電力の削減にトライしています。また、同階の南側のブラインドには、自然光を天井に反射させ、奥まで自然光を採り入れられるグラデーションブラインドを採用し、晴天時の太陽光を照明に生かすトライもしています。

OM新御徒町ビル全体はBEMS（Building Energy Management System※）を導入し、エネルギー使用の管理を行っています。


OM新御徒町ビル北側

OM新御徒町ビル南側

※空調機器などの運転データ／エネルギー使用量データを蓄積・解析し、効率よく制御することでエネルギー消費量の最適化／低減をはかるシステム

グリーンカーテンコンテスト最優秀賞受賞 つくば

2011年よりつくば事業所では夏の節電対策の一環として毎年グリーンカーテンを設置しています。グリーンカーテンは、設置のない場所と比べると2～8℃温度を下げることができ、空調負荷の低減に貢献しています。

2013年度は、つくば市主催グリーンカーテンコンテストの生育部門・事業所の部で最優秀賞を受賞しました。

事業所外観

事業所内部の様子

労働安全衛生の取り組み

安全で健康な「人に優しい企業」を目指し、全員参加で労働安全衛生活動に取り組んでいます。また、信頼性の高い製品を提供する企業活動の基本は、従業員の安全と健康であると考えています。

2013年度は、設備を中心としたリスクアセスメントに力を入れ、災害の原因となり得る危険源の抽出および改善を実施しました。また、本人の体調や作業状況、対象物などいろいろな事柄が関係して発生する腰痛災害に対しては、重量物への表示を行うことで注意喚起したり、腰痛防止ミーティングを行い、その結果を「腰痛防止ハンドブック」としてまとめるなど、腰痛災害防止活動を工夫しながら実施しました。

交通安全活動では、営業配属前の新社員に対し、ドライブシミュレーターを用いた運転適性診断を行うなど、新しい取り組みを盛り込んだ交通安全講習会を実施しました。

労働災害低減のための活動	職場でのヒヤリハット体験募集や危険予知活動、作業のリスクアセスメントによる潜在リスクの洗い出しと改善などによる、「より安全な職場づくり」のための活動。
作業環境測定と改善活動	照度、騒音、有機溶剤濃度など作業環境測定を行い、快適職場の維持、向上。
健康的な生活の啓蒙活動	ウォーキング活動、食品展示会、看護師による心の健康診断、産業医による衛生講話など、「生き生き」と仕事ができるようにするための取り組み。
交通安全活動	交通安全講習会や危険予知訓練、安全セルフ診断、同乗運転指導、タイヤ点検(夏・冬)、無事故リレーなどのチーム活動による、業務や通勤時の交通事故予防。

リスクアセスメント実施会の様子

ドライブシミュレーター

地域とともに

「こども環境学習ひろば」を継続実施 鶴岡

鶴岡市が主催する「環境フェアつるおか2013」に「庄内環境マネジメント研究会」のメンバーとして2013年度も参加し、製品、デモ機、パネルを展示しました。また、同研究会の合同企画として「こども環境学習ひろば」も開催し、11家族33人と共に廃油を利用したろうそく作りを行い、油と水質汚染の環境教育を実施しました。

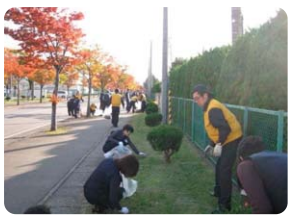
- 中学生、高校生、大学生の事業所見学 鶴岡、相馬、土浦、高松
- 山形県産業担い手育成プロジェクト インターンシップ 鶴岡
- 高校生インターンシップの受入 相馬
- 相双こども科学祭、そうま市民まつり 相馬
- エコキャップ活動 大阪

こども環境学習ひろば

主なボランティア活動

- 風の松原を守る市民ボランティア大会 能代
- 「美しいやまがたの海」クリーン作戦 鶴岡
- 鶴岡中央工業団地一斉清掃 鶴岡
- 松川浦環境公園美化サポート大作戦 相馬
- 霞ヶ浦・北浦の清掃 つくば、土浦
- ゴミゼロ運動 柏
- 香西地区クリーン作戦 高松

松川浦環境公園
美化サポート大作戦


鶴岡中央工業団地一斉清掃

オリエンタルモーター株式会社

〒110-8536　東京都台東区東上野4-8-1
ホームページ http://www.orientalmotor.co.jp

環境報告書についてのお問い合わせ先
環境品質マネジメント課
TEL.(029)848-2172 FAX.(029)848-2215

発行／2014年6月